

第4章

人を育てる教育・文化のまち

第1節 教育

現状と課題

本町には、幼稚園1園、小学校4校、中学校1校があり、学校施設の計画的整備はもとより、ALT(外国語指導助手)の配置、ティームティーチング^{*1}や少人数指導授業のための指導員の配置、特別支援教育の実施など教育内容の充実に努めています。また、学校評議員による学校と地域社会及び家庭との連携、子ども見守り隊による登下校時の安全の確保など、地域との連携による教育環境の整備を積極的に進めてきました。さらに、心の問題に対して、教育相談センターに学校教育指導員、小中学校に教育相談員を配置して相談・指導を実施しています。

特に、平成17年から始まった幼保小中一貫教育プロジェクトにより、幼稚園・保育園・小中学校と家庭・地域が連携した教育のあり方を明らかにし、「生きる力」を身につけた生徒の育成に取り組んでいます。

急激な社会情勢の変化の中で、学力・学習意欲の低下、規範意識の欠如、いじめ・不登校など児童・生徒を取り巻く問題は、学校だけにとどまらず広く社会的な問題になっています。

今後も「生きる力」を身につけさせる主体的かつ特色ある教育活動の推進や幼保小中の連携、学校給食体制の充実など総合的な取り組みを一体的に進めていく必要があります。

■児童・生徒数の推移

	小学校				中学校	幼稚園
	東部 小学校	英比 小学校	草木 小学校	南部 小学校	阿久比 中学校	ほくぶ 幼稚園
平成18年度	276	501	233	416	683	135
平成19年度	278	522	222	421	739	142
平成20年度	264	531	220	441	724	142
平成21年度	268	517	215	443	741	130
平成22年度	293	512	229	438	690	128

各年5月1日現在

資料:学校教育課

^{*1} ティームティーチング:子どもたちの状況に応じて、授業を進める先生と個別に対応する先生が役割分担して、子どもたちの個別の課題に応じたきめ細かく行き届いた指導。

■学校教育施設



資料：学校教育課

■幼稚園・小中学校の状況

		小学校				中学校	幼稚園	
		東部小学校	英比小学校	草木小学校	南部小学校	阿久比中学校	ほくぶ幼稚園	
学級数		13	19	10	15	22	6	
児童数	(人)	293	512	229	438	690	128	
教員数	(人)	19	26	13	21	36	8	
建物面積	校舎	非木造	4,542	6,067	3,082	4,185	8,010	1,053
		木造	58	68	—	—	—	—
		計	4,600	6,135	3,082	4,185	8,010	1,053
	屋内運動場	非木造	999	1,204	1,138	1,000	1,613	—
	柔剣道場	非木造	—	—	—	—	508	—
食堂	非木造	—	—	—	—	580	—	
敷地面積	(㎡)	20,668	26,172	19,467	14,109	48,044	3,853	

平成22年5月1日現在

資料：学校教育課

施策の目標

本町の次代を担う人材の育成に向け、施設や教育内容などの総合的な教育環境の充実を図ります。

主要施策

(1) 幼保小中一貫教育のさらなる推進

幼保小中一貫教育を押し進め、幼稚園・保育園・小中学校と家庭・地域が連携し、自らを律し、自ら実践し、「生きる力」(確かな学力、豊かな心、健やかな体)を身につけた生徒を育てます。

(2) 学校施設の整備

老朽化した学校施設の改修を計画的に推進するとともに、環境を考慮した施設の整備を図ります。

(3) 教職員の資質の向上

幼稚園・保育園・小中学校の教職員の交流、研修などへの積極的な参加を進め、資質及び指導力の向上を図ります。

(4) 心と体の教育の充実

わかる授業、思いやりの心を育む教育を行い、児童・生徒が楽しく学べる教育環境づくりを推進するとともに、教育相談センターなどの相談活動により学校生活に不安を抱く児童・生徒の支援、いじめ・不登校への対応など、個別の教育支援をより充実させます。また、健やかな体の育成を目指して体力向上プログラムの実施や、小学校の陸上競技の充実、中学校の部活動と総合型地域スポーツクラブ^{*1}との連携を図ります。

(5) 学校と地域の協体制の充実

学校と地域の連携を深め、学校支援地域本部事業により小中学校における地域人材の活用を図り、児童・生徒が心身ともに健全に育成できる環境づくりに努めます。

(6) 子どもの安全・安心の確保

子ども見守り隊の協力による児童・生徒の安全確保、子ども総合支援センターなどの関係機関との連携による、子育て相談や家庭への支援を図りながら、地域と協働して児童・生徒が安心して通学できる環境を整えます。

(7) 国際化・情報化社会への対応

国際感覚を養うため外国語教育にはA L T (外国語指導助手)、情報教育には情報教育サポーター^{*2}を配置して教育内容の充実を図ります。

(8) 学校給食の充実

食育^{*3}や地産地消を推進し、安全性に配慮した給食を提供します。また、老朽化に対応した施設整備を進めるなど学校給食の充実を図ります。

^{*1} 総合型地域スポーツクラブ:性別、年齢、障がいの有無にかかわらず、住民の誰もが気軽にスポーツに取り組むことができるように、住民が主体的に運営するスポーツクラブ。

^{*2} 情報教育サポーター:小中学校のコンピュータ学習における操作指導員や補助員。

^{*3} 食育:国民一人ひとりが、生涯を通じた健全な食生活の実現、食文化の継承、健康の確保などが図れるよう、自らの食について考える習慣や、食に関する様々な知識と、食を選択する判断力を楽しく身につけるための学習などの取組。

主要事業

主要事業	事業主体	事業概要
学びの町おこし事業	町	生活習慣・学習習慣の確立、基礎学力の定着 サタデースクールの拡大、ノーテレビ・ノーゲームデーの制定
学校施設整備事業	町	計画的な老朽校舎などの整備 計画的なバリアフリー化に関する整備 太陽光発電システムの整備によるエコスクール化
教職員の資質向上	町	日本一面倒見のよい指導者の育成 年齢別研修の充実 教科指導、学校教育に関する情報のデータベース化と教職員への相談活動
豊かな心と健やかな体の育成事業	町	道徳研修会の実施と授業交流・参観などによる道徳の時間の充実 教育相談センターの充実 スクールカウンセラーの充実 体力向上プログラムの実施
学校支援地域本部事業	町	地域の教育力の低下や教員の勤務負担増加に対応するため、地域ぐるみで学校を支援する組織づくり
子どもの安全・安心の確保	町	子ども見守り隊の充実 危機管理マニュアルの整備と充実 自転車での交通事故防止と、マナーの向上 安全・安心パトロールカーの活用
国際化・情報化社会への対応	町	A L T・情報教育サポーターの配置 小中学生の海外派遣 情報モラル教育の充実
食育の推進	町	総合的な食に関する指導、アレルギー対策、野菜・米などの地元農産物の活用推進

成果目標

成果目標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
学校評価で「学校へ行くのが楽しい」と答えた児童・生徒の割合	%	87	92	97
小中学校における地域人材の活用	人	1,094	1,200	1,300

参画・協働の 行動指針

- 基本的な生活習慣、しつけなど家庭における教育に力をいれましょう。
- 地域一体となったあいさつ運動を実施しましょう。
- 子どもは町全体で、地域で育てるという意識のもと、自分の子ども以外にも注意する、大人が模範を見せることでマナーを教えましょう。
- 保護者会やP T A活動などへ積極的に参加しましょう。
- これまで培ってきた知識・技術を生かし、子どもたちの学習活動を支援しましょう。

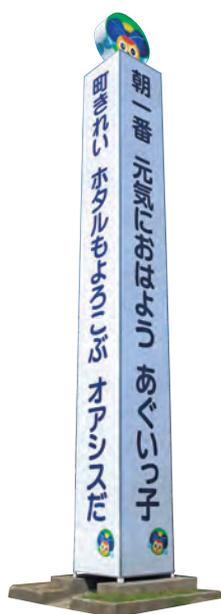
第2節 青少年健全育成

現状と課題

少子高齢化や核家族化の進行、地域コミュニティの希薄化に伴い、青少年を取り巻く環境は大きく変化し、青少年をめぐる様々な問題が表面化している中、本町では、青少年体験ボランティアセンターにコーディネーターを配置し、小中学生を対象として青少年の奉仕活動・体験活動及び社会参加促進を図っています。

また、4小学校区ごとに設置された家庭教育推進協議会による家庭教育力の向上活動とともに、各地区から選出された地区推進員で構成する青少年健全育成地区推進員連絡協議会と連携したふれあい行事の開催や街頭啓発といった非行防止活動など青少年健全育成に向けた取り組みを展開しています。

しかし、本町においても地域の教育力の低下や青少年の修学及び就業のいずれもしていない子どもや若者の健全育成に課題がみられます。今後とも、青少年の健全育成は重要課題であるという認識に立ち、地域ぐるみで体制の強化を図り、各種の健全育成活動を推進していく必要があります。



あいさつ運動

施策の目標

青少年が本町の次代の担い手として健全に育成されるよう、家庭と地域や学校が連携して健全育成活動を推進します。

主要施策

(1) 青少年の社会参加の促進

青少年体験ボランティアセンターの活動を通じ、青少年の様々な体験活動や社会活動などの充実を図り、青少年活動の活発化を促進します。また、青少年の社会進出促進のための情報収集や提供を図ります。

(2) 人材の活用

青少年健全育成関係団体の活動を支援するとともに、研修・交流などを通じて青少年健全育成のリーダーの育成・確保に努めます。

(3) 地域の教育力の向上

家庭教育に関する講座の開催、広報・啓発活動の推進、学校と家庭の連携など地域の教育力の向上に努めます。

(4) 健全な地域社会環境づくり

青少年健全育成地区推進員をはじめ、少年補導委員や保護司・更生保護女性会などの関係機関・団体と連携して、啓発やパトロールなど各種非行防止活動を展開し、健全な地域社会環境づくりを推進します。

主要事業

主要事業	事業主体	事業概要
青少年体験ボランティア活動	町	ボランティアコーディネーターの設置 青少年体験ボランティアセンターの活用及び社会参加の促進
人材の活用	町	生涯学習ボランティア登録制度の充実
地域の教育力の向上	町	家庭教育推進協議会及び青少年健全育成地区推進員連絡協議会活動の充実
非行防止活動の充実	町	関係機関・団体と連携した体制づくりの確立 青少年に有害な環境の浄化活動の推進 街頭啓発及びパトロールの実施

成果目標

成果目標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
パトロールの回数	回/年	13	14	15
家庭教育推進協議会主催事業の参加者数	人	1,668	1,700	1,800

参画・協働の 行動指針

- 子どもの犯罪被害や事故などの防止に向けて、地域で子どもを見守りましょう。
- 家庭教育推進協議会の主催事業に参加しましょう。
- 農業体験、職業体験など、子どもが様々な職業を地域で体験できる機会を増やしましょう。
- 高等学校、大学の学生を主体としたボランティアサークルづくりに取り組みましょう。
- 老人クラブなどと連携をした青少年いきいき活動を進めましょう。

第3節 生涯学習

現状と課題

少子高齢化や情報化の進展、教育水準の向上や自由な時間の増大などを背景として、心豊かな生活を送るため、乳幼児期から高齢期までの生涯を通じて学習を行うことができる社会の実現が求められています。

本町では、住民の幅広い学習ニーズに応えるため、中央公民館のほか5つの地区公民館、図書館などの社会教育関連施設で、生涯学習基本構想に基づき、各年齢層に応じた様々な講座・教室・講演会を開催しています。また、学習情報の提供や広報・啓発活動の推進、指導者の育成・確保などに努めています。

しかし、少子高齢化・国際化・情報化の一層の進展など社会・経済情勢の急速な変化に伴い、生涯の各期における学習課題がますます多様化・高度化しています。これに対応し、住民が自発的意思に基づいて学習活動を行い、その成果が適切に評価され、地域社会の発展に生かされるといった、まちづくりの一環としての学習環境づくりが求められています。

中央公民館をはじめ、図書館など社会教育関連施設のハード・ソフト両面の充実に努めるとともに、住民の学習ニーズを常に把握しながら、多彩で特色のある学習プログラムの整備や関係団体との連携を図り、総合的な学習環境づくりを進めていく必要があります。

施策の目標

住民一人ひとりが心豊かに生きがいのある充実した生活を営み、活力に満ちた地域社会を形成するため、子どもから高齢者まであらゆる世代の誰もがいつでも学べる学習環境づくりを図ります。

主要施策

(1)生涯学習プログラムの充実

生涯学習基本構想に基づき、デジタル・デバイド^{*1}解消のための情報化教育の推進など、特色ある生涯学習プログラムを充実させるとともに、広報紙やホームページなどによる多様な情報提供に努めます。

(2)人材の育成と活用

団塊の世代などへの積極的な働きかけを行い、多様なニーズに合った各種講座のボランティア講師の育成に努めるとともに、社会教育団体及びサークルの育成・支援に努め、自主的な生涯学習活動を促進します。

^{*1} デジタル・デバイド: コンピュータやインターネットを使いこなせる者と使いこなせない者の間に生じる格差。

(3) 学習環境づくりと計画的な施設整備

託児に対応できる教室の体制づくりなど、受講者に配慮したよりよい学習環境を提供するために、計画的な施設整備を図ります。

(4) 図書館の充実

利用者のニーズに応えるために、地域性を踏まえた資料の整備など蔵書の充実と、利用しやすい魅力ある図書館づくりを図ります。また、図書館事業を充実するため、図書館ボランティアの育成を図ります。

主要事業

主要事業	事業主体	事業概要
生涯学習プログラムの充実	町	住民ニーズや行政課題に対応したプログラムづくり
ボランティア講師・社会教育関係団体の育成	町	ボランティア講師の活用 団体主催講座の開催 リーダー研修会などの開催
託児体制の充実	町	託児に対応できる体制の整備
魅力ある図書館づくり	町	自発的な学習意欲に応えられるような蔵書・資料の充実 講座・教室の開催と展示ホールの活用 図書館ボランティアの育成

成果目標

成果目標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
生涯学習施設年間利用件数	件	7,845	7,900	8,000
生きがい教室・講座受講率	%	86.1	87.0	88.0
生涯学習事業参加者数	人	11,344	12,500	13,000
図書館図書1人当たり年間貸出冊数	冊	7.8	8.0	8.2

参画・協働の 行動指針

- 積極的に生涯学習活動に参加しましょう。
- これまで培ってきた知識・技術を生かして、生涯学習ボランティアに参加しましょう。
- 生涯学習活動の成果をまちづくり活動に生かしましょう。
- 知人・友人を誘い合い学習しましょう。

第4節 芸術・文化

現状と課題

生き生きと心豊かな生活を送るために、身近なところで芸術・文化に接したり、自らも創作意欲を持ち、技術の習得や向上に取り組み、その成果を発表する機会を持ちたいという要望が増加しています。

本町では、文化活動として文化祭など各種イベントの開催、中央公民館本館ロビーや図書館ホールでの展示、「あぐい文化」の発行などを行っています。地区公民館では、地区の特色ある公民館まつり、文化祭などが開催されています。

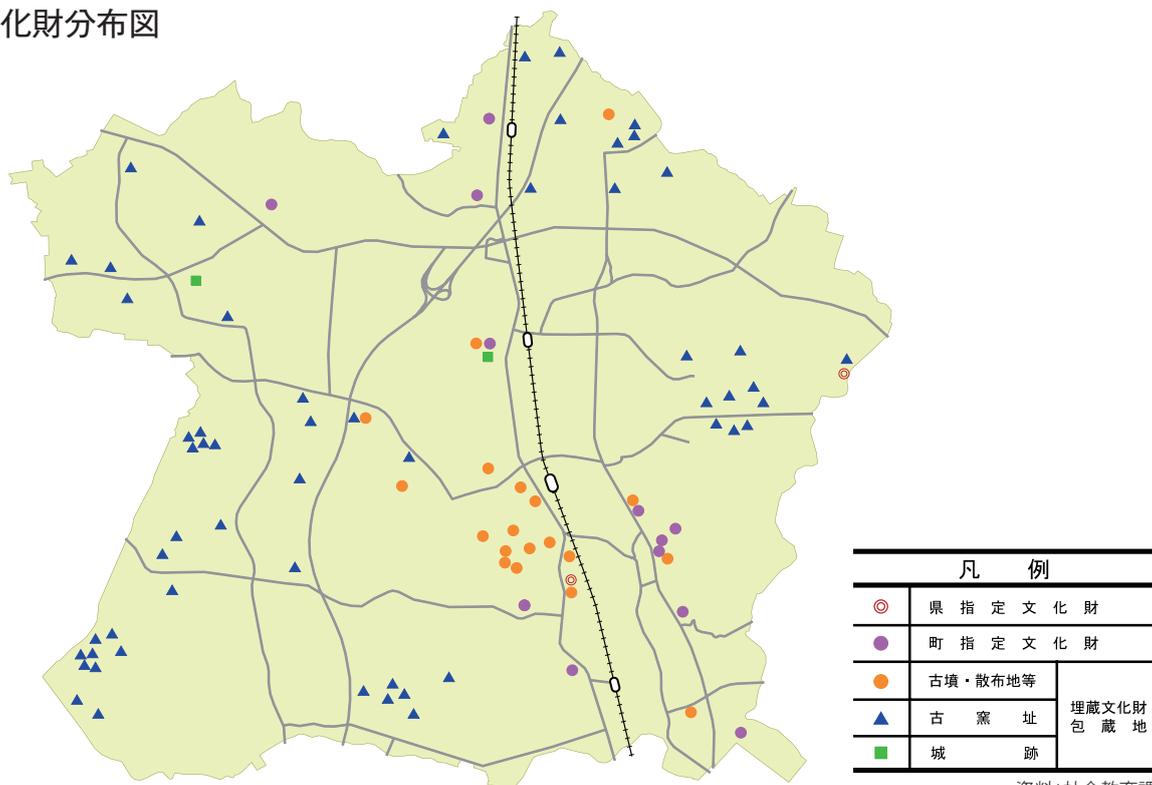
しかし、高齢化などによる会員数の減少、活動拠点の不足や老朽化が大きな課題となっています。

時代のニーズに合った芸術・文化活動の活性化を図るため、関係団体の育成と施設の整備を総合的に推進することが必要です。

本町の文化財をみると、6件の愛知県指定文化財と26件の町指定文化財があります。このほかにも88基の古窯発掘調査で出土した埋蔵文化財など歴史的遺産が数多くあります。また、山車まつりや虫供養など伝統行事が継承されており、本町の貴重な財産となっています。

今後とも適切な調査や保存、活用に努め、貴重な歴史的文化財を住民へ周知し、文化財に対する意識の向上を図っていくことが求められています。

■文化財分布図



資料：社会教育課

■愛知県指定文化財一覧

種別	物件	員数	所在地	所有者	指定年月日
彫刻	不動明王立像	1 軀	棕岡字唐松29	宗教法人 平泉寺	昭和29.2.5
〃	毘沙門天立像	1 軀	〃	〃	〃
〃	阿弥陀如来坐像	1 軀	〃	〃	昭和40.5.21
無形民俗	知多の虫供養行事		阿久比町内	阿久比谷虫供養保存会 (13地区)	昭和58.9.14
史跡	板山長根古窯	3基195.67㎡	板山字長根50-11	半田市	昭和59.3.30
書跡	賦山何連歌(杜若連歌)	1巻	卯坂字英比67	宗教法人 洞雲院	平成22.8.27

平成22年10月31日現在

資料：社会教育課

■阿久比町指定文化財一覧

種別	物件	員数	所在地	所有者	指定年月日
建造物	正盛院仁王門	1 宇	草木字草出口7	宗教法人 正盛院	昭和55.1.1
史跡	二子塚古墳	1 基	宮津字八反田5 宮津字八反田6 宮津字八反田7 宮津字八反田8	新美慶一 新美貫三 新美一郎 新美直松 管理者 大字宮津	昭和55.7.1
彫刻	仁王像	1 対	草木字草出口7	宗教法人 正盛院	昭和56.7.10
史跡	久松・松平家葬地	83.18㎡	卯坂字英比67	宗教法人 洞雲院	昭和57.3.1
有形民俗	阿久比谷虫供養付掛軸	12 幅	阿久比町内	阿久比谷虫供養保存会 (13地区)	昭和58.9.14
史跡	坂部城跡	3,077㎡	卯坂字栗之木谷32-1	宗教法人 洞雲院	昭和63.7.1
工芸品	鞍	1 具	卯坂字英比67	〃	平成元.9.1
絵画	十六羅漢図	3 幅対	〃	〃	〃
古文書	血書阿弥陀経	1 巻	〃	〃	〃
彫刻	如意輪観音像	1 軀	〃	〃	〃
絵画	涅槃図	1 幅	〃	〃	〃
工芸品	重箱	3 重1組	〃	〃	〃
絵画	蓮水鳥図	双幅対	〃	〃	〃
工芸品	於大の方位牌	1 基	〃	〃	〃
〃	香合	1 合	〃	〃	〃
有形民俗	宮津北組山車	1 輛	宮津字堂道16	宮津北組山車保存会	平成2.10.1
〃	南社山車	1 輛	宮津字宮本30-3	南社山車保存会	〃
〃	八幡社山車	1 輛	植大字柿崎11	大古根八幡社山車保存会	〃
〃	萩大山車	1 輛	萩字曾根21-1	萩大山車保存会	〃
〃	横社山車	1 輛	横松字前田64	横社山車保存会	平成4.2.17
古文書	北原天神法楽連歌	9 巻	白沢字天神裏44	三浦正典	平成6.4.1
有形民俗	高岡獅子館	1 基	矢高字三ノ山高16	高岡区長	平成7.1.4
彫刻	円空仏	1 軀	白沢字東中根23	宗教法人 宝安寺	平成8.4.1
天然記念物植物	楠	2 樹	宮津字宮本29	宮津 熱田社	平成11.12.1
絵画	金唐紙 (新美東谷作襖絵)	8 面	〃	〃	平成12.12.28
工芸品	長頸三筋壺	1 個体	卯坂字殿越50	阿久比町	平成21.4.23

平成22年10月31日現在

資料：社会教育課

施策の目標

地域に根ざした文化の継承と特色ある文化の創造に向け、住民主体の芸術・文化活動を一層促進していくとともに、貴重な文化財の保存や活用を図ります。

主要施策

(1) 芸術・文化団体の育成

文化協会、サークル協議会をはじめとする各種団体の自主的活動を支援します。

(2) 文化イベントの充実

魅力ある各種文化イベントの企画・開催を住民と協働で進め、多様な芸術・文化の鑑賞や活動成果を発表する機会の充実に努めます。

(3) 町民文化ホールの建設

芸術・文化活動の拠点として町民文化ホールを建設します。

(4) 文化財に対する意識高揚

子どもから大人までが文化財に関心をもてる展示会を開催し、歴史と文化の伝承を図ります。また、文化財を網羅したガイドブックなどを発行して周知を図ります。

(5) 文化財の保存と活用

埋蔵文化財研究員による分布調査の実施や、潜伏している歴史的資料の発掘に努めるとともに、指定文化財所有者を対象として保存維持・管理を促進し、後世への歴史と伝統の継承を支援します。また、歴史民俗資料館の建設を検討します。

主要事業

主要事業	事業主体	事業概要
芸術・文化の育成	町	団体の活性化・団体の情報提供
文化イベントの充実	町	文協まつり・文化祭などの充実
町民文化ホール建設事業	町	芸術・文化活動の拠点づくり
伝統文化の継承	町	伝統文化の紹介及び助成
文化財の保存・保護	町	埋蔵文化財包蔵地の周知 埋蔵文化財の分布調査及び発掘調査 歴史民俗資料館の建設を検討

成果目標

成果目標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
文化協会団体数	団体	41	50	60
サークル協議会団体数	団体	41	50	60
指定文化財の数	件	32	34	36
民俗資料の収蔵点数	点	976	985	1,000



文化祭芸能大会



虫供養



長頸三筋壺

参画・協働の
行動指針

- 教育・講座への参加など芸術・文化活動に積極的に参加しましょう。
- 住民が主体となり、地域の歴史・文化の伝承を図りましょう。
- 町の歴史を知る活動へ参加しましょう。
- 町の財産である文化財の保存・保護に協力しましょう。

第5節 スポーツ

現状と課題

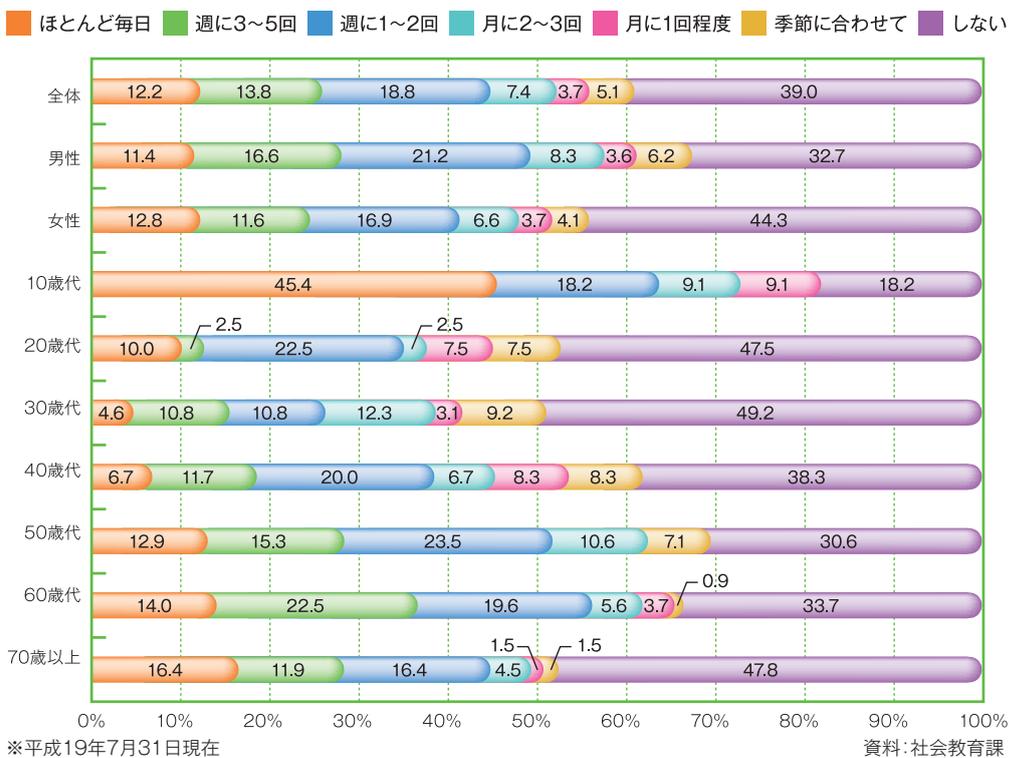
スポーツは、われわれ人間の「こころ」と「からだ」の健全な発達を促し、人間形成において重要な役割を持っています。また、明るく豊かで活力に満ちた社会をつくる人類共通のかけがえのない文化の一つでもあります。

本町は、スポーツ村をはじめ充実したスポーツ環境を有しているとともに、スポーツ団体への活動支援や、住民の健康増進・余暇利用の充実に向けた各種スポーツ大会・教室を開催しています。また、総合型地域スポーツクラブが設立され、誰もが参加できるスポーツ活動を展開しています。

近年、健康・体力づくりに対する関心が高まり、住民のスポーツニーズは増大・多様化し、生涯にわたってそれぞれの年齢や体力に応じた、スポーツ活動が行える環境づくりが一層求められています。

このため、各スポーツ施設の整備充実を計画的に進めていくとともに、総合型地域スポーツクラブの育成をはじめ、各種スポーツ団体の育成、指導者の確保など、スポーツ活動の場と機会の充実を進めていく必要があります。

■運動実施率



施策の目標

住民がいつでも自分に合ったスポーツに取り組み、健康で明るい生活ができるスポーツ環境づくりを推進します。

主要施策

(1) スポーツ教室の充実

様々な年齢や目的に応じたスポーツ教室の充実を図ります。

(2) 健康・スポーツ関係団体及び指導者の育成

体育協会や総合型地域スポーツクラブの育成・支援に努めるとともに、指導者やボランティアの育成・確保を図り、住民の自発的・主体的なスポーツ活動の活性化を推進します。

(3) 学校施設と既存施設の整備

学校施設及び既存施設への夜間照明の設置などにより、利用しやすい施設を整備します。

(4) スポーツ村の活用と周辺の整備

スポーツ村を町の健康・スポーツ施設の核として活用を図るとともに、ウォーキングコースを設定し、レクリエーション・スポーツの拠点として整備します。

(5) レクリエーション活動の促進

住民の憩いの場としてふれあいの森を整備し、余暇・レクリエーション活動を促進します。

(6) 体育館・プールの建設

多様な健康・スポーツ活動を可能にするため、体育館とプールを建設します。

主要事業

主要事業	事業主体	事業概要
スポーツ教室の充実	町	ジュニア・シニアスポーツ教室の充実
健康・スポーツ関係団体及び指導者の育成	町	団体の育成・支援
学校施設と既存施設の整備	町	夜間照明施設の設置 利用しやすい施設の整備
スポーツ村の活用と周辺整備	町	ウォーキングコースの整備
レクリエーション活動の促進	町	ふれあいの森施設・設備の充実
体育館・プールの建設	町	体育館・プールの建設

成果目標

成果目標の名称	単位	平成21年度 (実績)	平成27年度 (中間目標)	平成32年度 (目標)
週1回以上スポーツ活動に親しむ成人 住民割合	%	44.8	50.0	60.0
スポーツ施設の利用回数	回	28,998	30,000	32,000
スポーツ教室参加者数	人	2,217	2,500	3,000

参画・協働の 行動指針

- 年齢・体力に応じた、定期的なスポーツ活動に取り組みましょう。
- イベントや各種スポーツ大会へ積極的に参加しましょう。
- 体を動かすことは健康のもと、スポーツを楽しみましょう。